

海上自衛隊呉史料館  
開館十周年コレクション展Ⅲ

Wheel

# 舵輪

And

# と

Bell

# 号鐘



2017.11.01(wed) → 12.28(thu)

10th **つのくしら館**  
海上自衛隊呉史料館 JMSDF KURE MUSEUM

〈住所〉〒737-0029 広島県呉市宝町5-32 〈開館時間〉9:00~17:00(最終入館16:30)  
〈休館日〉火曜日、12月29日~1月3日 〈観覧〉無料 〈お問合せ〉☎0823-21-6111

進路を定め、進行方向を操るためのだりん舵輪。

海上自衛隊の艦艇の舵輪も、誰もが想像する基本的な舵輪の形をしたものから、まるで自動車のハンドルのような大きさ・形まで、艦艇によって多種多様です。

また、悪魔祓いや時刻・非常事態を知らせるために船に乗せていた鐘は、現在濃霧などの視界不良時に鳴らすためのごうしょう号鐘として備え付けることが義務化されています。

実際には汽笛が使用されることが多く、船舶に備え付けていることを知らない人も多いかもしれません。

3回目となった今回のコレクション展は、舵輪と号鐘にスポットを当てて收藏品をご紹介します。

# Wheel Bell And 舵輪と号鐘



① 護衛艦「まきぐも」舵輪 ② 敷設艦「むろと」盾 ③ 護衛艦「まきぐも」艦銘板（練習艦時代） ④ 掃海艇「ひこしま」斧外箱 ⑤ 小型掃海艇7号 号鐘 ⑥ 掃海艇「ひこしま」斧

## てつくじ × 国立呉工業高等専門学校 コラボ

コレクション展で展示されている小型掃海艇の舵輪と号鐘の展示台は、呉市阿賀にある国立呉工業高等専門学校の生徒さんが「インキュベーションワーク」という授業の一環で、今回の展示用に設計、製作したものです。重量のある舵輪や号鐘を展示するためには十分な強度を保ちながら、よりみなさんに分かりやすく展示を見ていただけるような工夫がなされています。ぜひ、展示台にもご注目ください。

